2026 ズバリ！的中 古文

法政大学

入試問題本文がほぼ一致、問の箇所・内容も複数一致。

入試問題	河合塾
2月7日実施　経営学部　A方式 大問2	直前講習　ファイナル私大古文テスト 第2講　b番

次の文章は、『大鏡』の一節で、左大将で世を去った藤原済時の娘について書かれた箇所である。これを読んで、後の問に答えよ。

いま一所の女君こそは、いとはなはだしく心うき御ありさまにておはすめれ。父大将の取らせ給へりける処分の領所、近江にありけるを、人に取られければ、すべきやうなくて、Aかばかりになりぬれば、もののはづかしきも知られずや思はれけむ、夜、かちより御堂に参りて、B愁へ申し給ひしはとよ。

殿の御前は、阿弥陀堂の仏の御前に念誦しておはしますに、夜いたくふけにければ、御臨息によりかかりて、少し眠らせ給へるに、犬防のもとに人のけはひのしければ、あやしと思しめしけるに、女のけはひにて、忍びやかに、「もの申し候はむ」と申すを、御鼾耳かと思しめすに、あまたたびになりぬれば、まことなりけり、と思しめして、いとあやしくはあれど、「誰そ、あれは」と問はせ給ふに、「しかしかの人の、申すべきこと候ひて、参りたるなり」と申しければ、Cいといとあさましくは思しめせど、寒く仰せられむも、さすがにいとほしくて、「何事ぞ」と問はせ給ひければ、「知ろしめしたることに候ふらむ」とて、事のありさまこまかに申し給ふに、いとあはれに思しめして、Dさらなり。みな聞きたることなり。いと不便なることにこそ侍るなれ。いま、Eしかすまじきよし、すみやかに言はせむ。かくいまだたること、あるまじきことなり。人してこそ言はせ給はめ。2とくかへらされね」と仰せられければ、「さこそはかへすがへす思ひ給へ候ひつれど、申し継ぐべき人のさらに候はねば、さりとも、①あはれと仰せごと候ひなむ、と思ひ給へて参り候ひながらも、いみじう③つつましう候ひつるに、かく仰せらるる、申しやるかたなく、③うれしく候ふ」とて、手をすりて泣くけはひに、④ゆゆしくもあはれにも思しめされて、殿も泣かせ給ひにけり。

注　処分の領所―遺産として与えられた領地。
御堂―藤原道長の建立した法成寺の一堂、阿弥陀堂。
犬防―仏堂内の内陣と外陣とを隔てる丈の低い柵、格子。

問四　傍線C「いといとあさましくは思しめせど」について、

(1)　「あさまし」と思ったのはどのようなことに対してか。最も適切なものを、次の中から一つ選べ。

①　「いとはなはだしく心うき御ありさま」であったこと
②　「処分の領所、近江にありけるを、人に取られ」たこと
③　「夜、かちより御堂に参りて、愁へ申し」たこと
④　「犬防のもとに人のけはひのし」たこと

問六　傍線E「しかすまじきよし」を読む際の区切り方として、最も適切なものを、次の中から一つ選べ。

①　し／かすまじ／きよし
②　し／かすまじき／よし
③　しか／すまし／きよし
④　しか／すまじき／よし

【二】　つぎの文章を読んで、後の問に答えよ。

小一条の大将の姫君が、右方の中の君宮を申しうけたる。（中略）

いま一所の女君こそは、いとはなはだしく心うき御ありさまにておはすめれ。父大将の取らせ給へりける処分の領所、近江にありけるを、人に取られければ、すべきやうなくて、かばかりになりぬれば、ものの恥づかしきも知られずや思はれけむ、夜、かちより御堂に参りて、愁へ申し給ひしはとよ。

殿の御前は、阿弥陀堂の仏の御前に念誦しておはしますに、夜いたくふけにければ、御臨息によりかかりて、少し眠らせ給へるに、犬防のもとに人のけはひのしければ、あやしと思しめしけるに、女のけはひにて、忍びやかに、「もの申し候はむ」と申すを、御鼾耳かと思しめすに、あまたたびになりぬれば、まことなりけり、と思しめして、いとあやしくはあれど、「誰そ、あれは」と問はせ給ふに、「しかしかの人の、申すべきこと候ひて、参りたるなり」と申しければ、いといとあさましくは思しめせど、寒く仰せられむも、さすがにいとほしくて、「何事ぞ」と問はせ給ひければ、「知ろしめしたることに候ふらむ」とて、事のありさまこまかに申し給ふに、いとあはれに思しめして、「さらなり。みな聞きたることなり。いと不便なることにこそ侍るなれ。いま、しかすまじきよし、すみやかに言はせむ。かくいまだたること、あるまじきことなり。人してこそ言はせ給はめ。とくかへらされね」と仰せられければ、「さこそはかへすがへす思ひ給へ候ひつれど、申し継ぐべき人のさらに候はねば、さりとも、あはれと仰せごと候ひなむ、と思ひ給へて参り候ひながらも、いみじう つつましう候ひつるに、かく仰せらるる、申しやるかたなく、うれしく候ふ」とて、手をすりて泣くけはひに、ゆゆしくもあはれにも思しめされて、殿も泣かせ給ひにけり。

問二　傍線部2「御鼾耳かと思しめすに」とあるが、どういうことか。その説明として最も適切なものをつぎの中から選び、解答欄の記号をマークせよ。

ア　殿の御前は、夜中に女の化け物が出たことを恐ろしいとお思いになり、耳をそばだてようとなさった、ということ。
イ　女君は、阿弥陀堂で小一条の大将の姫君の声を聞き、事を見ているにちがいないとお思いになった、ということ。
ウ　殿の御前は、一心不乱に経を唱えている最中に犬の声が聞こえて、うっとうしくお思いになった、ということ。
エ　女君は、参籠中に聞こえてきた女の声を、阿弥陀様の声かもしれないとお疑いになった、ということ。
オ　殿の御前は、少しうとうとしていたところに、女の声がしたので、聞きまちがいかとお思いになった、ということ。

問四　傍線部3「しかすまじきよし」の解釈として最も適切なものをつぎの中から選び、解答欄の記号をマークせよ。

ア　他人が女君の頭髪を剃り取りするようなことは、してはいけない、ということ。
イ　犬防のところにいた警護役が女君を通過させるようなことは、あってはならない、ということ。
ウ　女性が夜中に一人で仏堂を訪れるようなことは、してはいけない、ということ。
エ　人が経を唱えている最中にいきなり話しかけるようなことは、してはいけない、ということ。
オ　父大将の訴えが聞き届けられないような状況は、放置してはいけない、ということ。